

NPO法人 ナルク (NALC)埼玉西

さいさい
彩西

—第 257 号—

【発行】NPO(特定非営利活動)法人

ナルク(NALC)埼玉西

【事務局】〒359-1106

所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17

田淵頼孝(代表)方

Tel 04-2926-9787

email tabutuchiyoritaka@gmail.com

清々しい秋を期待して

ナルク埼玉西代表 田淵頼孝

日本は春夏秋冬という四季を有し、それぞれに味わい深い季節を体感・謳歌することができる国です。四季に相応しい暑さ、寒さ、温暖な気候など特徴と変化のある趣があり、味わい深い四季の特徴を楽しませてくれます。

春は生物の目覚めで、種や根っこから発芽・成長して行き、夏は豊富な水や太陽を受け、どんどん成長していきます。

9月は残暑も去り——と言いたいのですが、2025 年の夏は気温 35 度を超す残暑続きでまだまだ暑さには悩まされます。ですが、やがては清々しい秋の風が吹いてくることでしょう。そして野菜、果物、魚などの収穫期に入ります。食欲の秋に舌鼓が打てるような食べ物を賞味しましょう。まさに食欲の秋に相応しい収穫と味覚を堪能できる季節です。

ところで、人間が快適と感じる温度と湿度は 25℃、60%と言われています。まさに秋の気候です。快適であるとともに哀愁を感じさせる面もあり、なかなか乙な気候です。

私が終戦直後の子供時代を過ごした瀬戸内海の秋は、走馬灯の如く駆け巡ります。おやつが無い時世で、裏庭にある 2 本の富有柿は、食べ盛りの子供の最高のおやつでした。

この時季の思い出

秋の時季になると、富有柿に関する思い出が二つ懐かしく頭をよぎります。茨城県に勤務していた時、筑波山のふもとにある町長が献上柿として、この地の富有柿を毎年皇室に献上していると自慢していました。試食させていただき感激したものです。

また、奈良市に勤務していたときは、奈良盆地にそびえる秋の法隆寺の塔が西陽を受けて輝き、美しさと哀愁を感じさせる風景は、独特な情景を感じさせられました。

「柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺」正岡子規—まさに良き思い出です。



(写真は本多会員提供)

令和6年度高齢社会白書をひもとく (中)

65歳以上では持ち家の割合が8割を超す

今回は高齢社会の生活環境、安心・安全、近所との付き合いの姿を眺めてみましょう。

生活環境の一つとして65歳以上の住まいをみますと、「持ち家（一戸建て）」が76.2%、「持ち家（分譲マンションなどの集合住宅）」が8.3%で、合わせて「持ち家」が84.5%と8割以上が「持ち家」に住まいしています。年代別の持ち家率をみますと、近年、64歳以下で減少傾向にあります。一方、65～69歳層及び70～74歳層ではおおむね横ばい、75歳以上では上昇傾向にあるということです。

使用目的のない空き家をみますと、平成30年ころは350万戸弱でしたが、平成10年当時の182万戸から約2倍に。昨今では、800万戸から900万戸という報道を見ます。

自宅のバリアフリー化、あまり進んでいない状況

高齢になりますと、ちょっとした段差などでつまずき転倒しやすくなりますが、自宅のバリアフリー化にどこまで取り組んでいるのでしょうか。その進捗状況をみますと、30歳代以下では「十分進んだ」、「まあまあ進んだ」の回答が5割程度。これが60歳代と70歳代では「あまり進んでいない」、「ほとんど進んでいない」との回答が6割強もみられます。転倒し、大けがをする前に、手すりや段差の解消を優先したいものです。

高齢になりますと、とにかく外出する機会が減ってきます。でも外出し、人と出会うことも大切です。外出の際の移動手段ですが、65歳以上の外出時の移動手段も大都市圏では「バス、路面電車」、「電車、地下鉄」など公共交通機関の利用割合が高く、都市規模が小さくなるにつれて「マイカー」の割合が高くなっています。

交通事故死者数全体の54.7%は、65歳以上の高齢者

次に、安全・安心についてみます。令和5年中に65歳以上の交通事故死者数は1466人で減少傾向にあります。でも高齢者の痛ましい交通事故の報道をみますと、車の免許返納を考える時期についても心準備をしたいものです。交通事故死者数全体に占める65歳以上の割合は令和5年で54.7%と過半数を超えています。

令和5年中の特殊詐欺の被害者は全体で1万9033件。オレオレ詐欺だ、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺などですが、65歳以上の高齢者が、これら特殊詐欺の78.3%と8割近くを占め、被害にあわないよう注意したいものです。

また、全国の消費生活センターに寄せられた契約当事者が65歳以上の消費生活相談件数をみると、平成29年以降、増加傾向にあり、平成30年には36万件に。その後、減少傾向も令和5年は28万件おきています。

ご近所さんとの付き合い方は、“会えば挨拶する程度”

ご近所さんとの交流は、高齢者にとっては貴重な財産。その付き合い方について、65歳以上の84.6%が「会えば挨拶をする」、61.3%が「外でちょっと立ち話をする」と回答しています。「物をあげたり、もらったりする」が47.4%で、ご近所さんとの触れ合いは様々な様子です。